

ICHIGŪ KAI  
ORAL HISTORY INTERVIEW

with

Masayuki Chikuma (MC)  
and Bishop Shigemaru Miyao (SM)

Interviewed by panel

Lead interviewer (probably): Rev. Ryokan Ara (RA) 荒了寛  
plus unknown others (Unk)

Interview date unknown (probably 1979)

*This interview is one of a series of video interviews conducted in Japanese by Hawaii Ichigū Kai, a Buddhist service organization, led by Bishop Ryokan Ara. The group made video recordings of 100 Issei sharing their life stories.*

註: ((?)) は聞き取れないまたは不明瞭な言葉。[ ]内は転写者による註、もしくは英語で行われた会話の和訳。太字の会話(例 **family**)は実際に英語で行われたことを表す。文章を読みやすくするため、冗長な箇所(反復、相槌など)を編集済み。

RA: 急に思い出して先生たちにおいでいただいて、やはり神社のことについて...ビデオテープに入れて残しとければいいなあという話が出まして。ご案内いたしておりますが。今日はほんとに、ご苦労でございます。こちらにおいでになるのは、出雲大社の、宮王 [ミヤオウー宮王重丸(シゲマル)]先生、それから、その次が、稲荷神社の **Bishop** [司祭] チクマさん。ハワイに、寺々[テラデラ]が、来たのは寺でもう 80年、前ぐらいでしょうなあ。宮王さんもその時分だろうと思いますが、チクマさんの方が先、ハワイにおいでになったんだから、その後...自分のことをひとつ話していただいたら...。はは、古い話だから、はあっはっはっは、思い出し、思い出し。

MC: お宮の...神社、いわゆるお宮のことは先生の方が詳しいんですよ。なぜか言ったら私が、あのうちの、おやじやママは、何ですね。父母がああ、稲荷神社をやったのが、えー...大正、6年頃から。そして、あのころは平屋だったんですよ、あすこはね。それから、何ですよ...こちらの、お父さんの、宮王勝良 [ミヤオウカツヨシ]、宮司先生の、あの、師事を受けまして。えー、おやっさんがあすこへ、ずっとなんですよ、出雲さんのほうの、祭員として、勉強したわけなんです。そして、ママが一番初めあすこの、**Sheridan** [Sheridan Street, シェリダンストリート]の稲荷神社をやってましたが。その時の稲荷神社の、何が、若宮さんといってあの、この前まで、**Moiliili** [モイリイリ]にありましたな、アキザキ [アキザキ家]さんがやってる...

Unk: あはいはいはい。

MC: アキザキの、この若い衆の、こないだ亡くなられたあの人のお父さん、ヨシオさんがあすこからご分霊をもらって、あすこへ建てられたという話を聞きましたよ。

RA: うん。

MC: わたしは、何ですよ。それから、平屋であったところを、大正8年に、タカタさんていうあの宮大工さんがいました。あすこで、宮大工さんに頼んでから、あれを高くしたんです。あの写真は、まだありますがね。ママが、やっぱり霊媒者で、((ここの湾??))にいたわけなんです。それか、お父さんのほうが、宮王先生の弟子で、ようやく、辛抱していかれたんです。協賛員の辞令をいただいて、あすこの、今で言う宮司ですわね。あの頃は、宮司、あるいは、あー社寺((社掌??))なんてものは、市あるいは村[ソン]とかの、あけ、認可がなければ、いう事はできなかつたの。もっとも、本社の方からもそうですがね。そういうことは、宮王先生から、よく、くれぐれも私は、聞かされました。だから決して、宮司ということ言っちゃいかんぞ、て。位牌主、つまり齋主[サイシュ]と言っておりました。宮司だなんてのは、戦後に言ったもんです。そして、神社、官幣大社[カンペイタイシャ。皇室や国から援助を受ける神社]とかなんとかいうのは、半官半民ですな。神社庁というものがとてもやかましい、時代だったんですよ、あの頃は。先生は、学校を出たし...

RA: は。

MC: 私らは、そのほうとは違うんですよ。全然。うちのおやじも、大体は、移民でこちらへ来た人なんでありますが。宮王先生の、老先生のおかげで、えーま、神主ということに、なったわけなんです。そして、あの、んー、同じ...神さんをお、お稲荷さんを拝むなら、伏見さん[恐らく京都の伏見稲荷]の、ご分霊を、俺が貰ってきてやる。先生が日本へお帰りになった時、その前にだったか、後だったか知りませんが。あれは、千家宮司さん、管長さんですねー。

SM: はい。尊有[タカモチ]。

MC: あれはタカ、尊有、だったでしょ。あの人からの辞令ですわ、あれは。わたしも一番初めはあの人からの辞令ですから。そして、あなたのお父さんのお世話で、京都の伏見の稲荷さんの、ご分霊をいただいておられます。そして、それをあすこに遷宮いたしまして。初めてそれが、あの一、それまでは、教団ではなかったんです。個人の...的な、あれで、だから tax [税金] を払ったりなんかしてね。ひどい目に、遭ったもんですよ。

RA: うん、うんうん。

MC: しかし、Waiialua、あるいは、Wahiawa、Aiea ね。郡部の方からの人は大変重い出費でやってますよ。あのころは、婦人も多かったが、男の人も、大変来ました。Waimanalo のほうの人もだいぶいましたよ。なんですかな耕地、の仕事をせられる方、それから、こないだ亡くなられたのは、お、お...なんですかなあの、50 なんぼで、亡くなったでしょあの、パパイヤを作られとった方。あれはお...

RA: どこだったか。

MC: あの Waimanalo の...

SM: お、オオミズ、ジュータローさん。

MC: そオオミズさん。オオミズさん！やー、あれ、ああいう方らんとこの、働く人なんてのがね。ヨシダさんとかあるいは、えーいろいろな人が来ました。そして、一生懸命信仰しておったですよ。ですからお祭りなんかのときには、相当ありました。あの頃は、ちょうど隣の((引っ張られた...私の、隣のお宮があったんですよ??)) ちょうど。そして、その後あの真言宗学校へかわ、変わって来られた。そ、その前は...真言宗の前はあれは支那人の領事館かなんかだったですね。

RA: そうでしたな。

MC: 浄土宗のなんかもあったと思うんですがね。そんな話を聞きましたが。あの頃、なんですよ、あの辺の一带の土地が...**one lot** [一区画] が 1000 ドルですな。だから、わたしら話に聞いておりますが、あすこの真言宗の **three lots** [三区画] で 3000 ドル、あんなもので 3000 ドルもよう出すのお言うてから、皆な、呆れとったんですよ。ですから、このたびの、あっこに、~~一~~道路をつけるのにみんな、あの界隈の、日本人はみな出されたでしょ？

RA: うん。

MC: 借家やなんも壊しちまってから。だから...ほとんど、あの人らがなんですかーこの、何に変わっていったですよあの、**Kaimuki**...かの方面に。たいがい **Kaimuki** の方に、行っとなすようちの近所の、前の方にいた人なんかは。あすこは、あの道はなかったですからね。えっへ(笑) こっちの、何が、タナベさんそこ。それから、タナベさんとの間に、**one lot**、借家持っとなす人がありました。それを買って、それから、こっちのほうの **one lot** は、**lease** [貸地] だったんですよ。だから、この、この、戦後あすこ、取られるときには、なんですか、わたしら、こっちの **lot** [区画] を買うときには、あれ、4000 なんぼ、払いましたよ。だが、取られるときには、**lease** のほうは、**damage** [損傷] でね。こわ、壊すから。だから、壊すんじゃから、欲しいものをみな持ってけ一言うたんですがね。とにかく、この土地は、政府は道路を開くために取るんだから。取るいうても私ら、売ったら困るわ言うて。んな困るいうてもそれは、相当の、今の値段で取るから、みんな買っちゃったんですよ。だがしかし、取ったときには、1万 6000 ドルくれましたよ。あれで、今のあすこへ... [恐らく Makiki 地区 Keeaumoku St. の北端 (ご家族からの情報) ]51年にかわったんです。

RA: うん、あー51年でした？

MC: はい 51年の9月でした。ママがあっこへ変わって、ひと月せんうちに亡くなりました。それから、おやっさんが...10年ほど生きてましたが、転んでねえ。足を痛めてもうずーっとあっこでう、((うりうちあみ??))。であたしが、おやじに、代わりに、**you** は何せーいうてから、ずっと、あれから、あたしが、あれを

引き受けたわけなんです。その頃にはもう、先生はおいでになったです。その先生は何年頃になります？

SM: えー、なんですうーと昭和 6 年...**Nineteen three one** [1931]。

MC: そうですわね。うん、うん。

SM: 5 月に来ましたから。5 月入ってきた。

MC: わたしは、27 年に初めて、お父さん連れられてさっき申しましたように先生のところ行って。それから、今度老先生が亡くなられてから、亡くなられる前から、若先生、あの頃若先生だったですかね。へへ。若先生に、師事してから。一生懸命いろんなことを教えてもらったわけなんです。ええ。それで今日に至って...

RA: あの頃はまだ、学校を出たばかりであんたまだ若かったねー。

SM: はい、はい。先ほどの、シムラ先生の話ですかね。4000...ドルかかけて言いましたが、((あの人ごちゅうは??)) 建築のほう、特に詳しいんです。もう 2000 ドルでなくて 1800 ドルぐらいから、小さい Cottage [小屋] が((??))の辺りにたくさんありました。もう 2000 ドル、以上あったら普通の、まー、家は...Cottage と言われん価値が、ありましたからね。

RA: 先生がおいでになったときの出雲大社、あの一なんですか Beretania のあのあすこですか？

SM: はいあそこです。((デリョウデン??))でした。

MC: あーま、あすこが長かったですな。

SM: はい。

MC: とにかくあの頃に、わたしがいたのが、24 年ですからな。

MC: 3 年たって、先生がそこへ来るようになったんじゃから。

SM: うん、えー。

MC: あの頃は、盆踊りがあるのびっくりして見に行きましたよ。盆踊りをするために近所の人なんか...

[テープはここまでで終了。会話の途中で音声切れる]

転写・要約: 加藤杏奈、Ari Uchida (Japanese Cultural Center of Hawai'i volunteers), 2017 年 12 月

註: 演劇家としての人生についてのインタビューは part1 に転写されている。

チクママサユキさんは 1991 年の 10 月 2 日に他界されました。